

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 12 月 1 日 (2011.12.1)

【公表番号】特表 2011-500922 (P2011-500922A)

【公表日】平成 23 年 1 月 6 日 (2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報 2011-001

【出願番号】特願 2010-530078 (P2010-530078)

【国際特許分類】

C 0 8 L 59/00 (2006.01)

C 0 8 L 77/10 (2006.01)

C 0 8 L 83/07 (2006.01)

F 1 6 H 55/06 (2006.01)

F 1 6 H 55/48 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 59/00

C 0 8 L 77/10

C 0 8 L 83/07

F 1 6 H 55/06

F 1 6 H 55/48

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 10 月 13 日 (2011.10.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

i . 7 5 ~ 9 8 重量 % のポリアセタール樹脂と、

i i . 1 ~ 2 0 重量 % の p - アラミド粒子と、

i i i . 0 . 5 ~ 5 重量 % のビニル末端ジメチルシロキサンポリマーと

を含むポリアセタール組成物。

【請求項 2】

前記 p - アラミド粒子が 5 0 0 μ m を超えない、好ましくは 1 5 0 μ m を超えない 平均最大寸法を有する、請求項 1 に記載のポリアセタール組成物。

【請求項 3】

前記 p - アラミド粒子がポリ (p - フェニレンテレフタルアミド) 粒子であり、前記ビニル末端ジメチルシロキサンポリマーが 2 5 で 1 5 0 C S T ~ 1 0 , 0 0 0 C S T または約 1 5 0 C S T ~ 約 1 0 , 0 0 0 C S T の粘度を有する、請求項 1 または 2 に記載のポリアセタール組成物。

【請求項 4】

前記ポリアセタール樹脂、 p - アラミド粒子および前記ビニル末端ジメチルシロキサンポリマーを混合する工程を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のポリアセタール組成物の製造方法。

【請求項 5】

好ましくはベアリング、ギア、カム、ローラー、滑り板、滑車、レバー、ガイドまたはコンベヤシステム構成部品である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のポリアセタール組成物から形成された成形品。